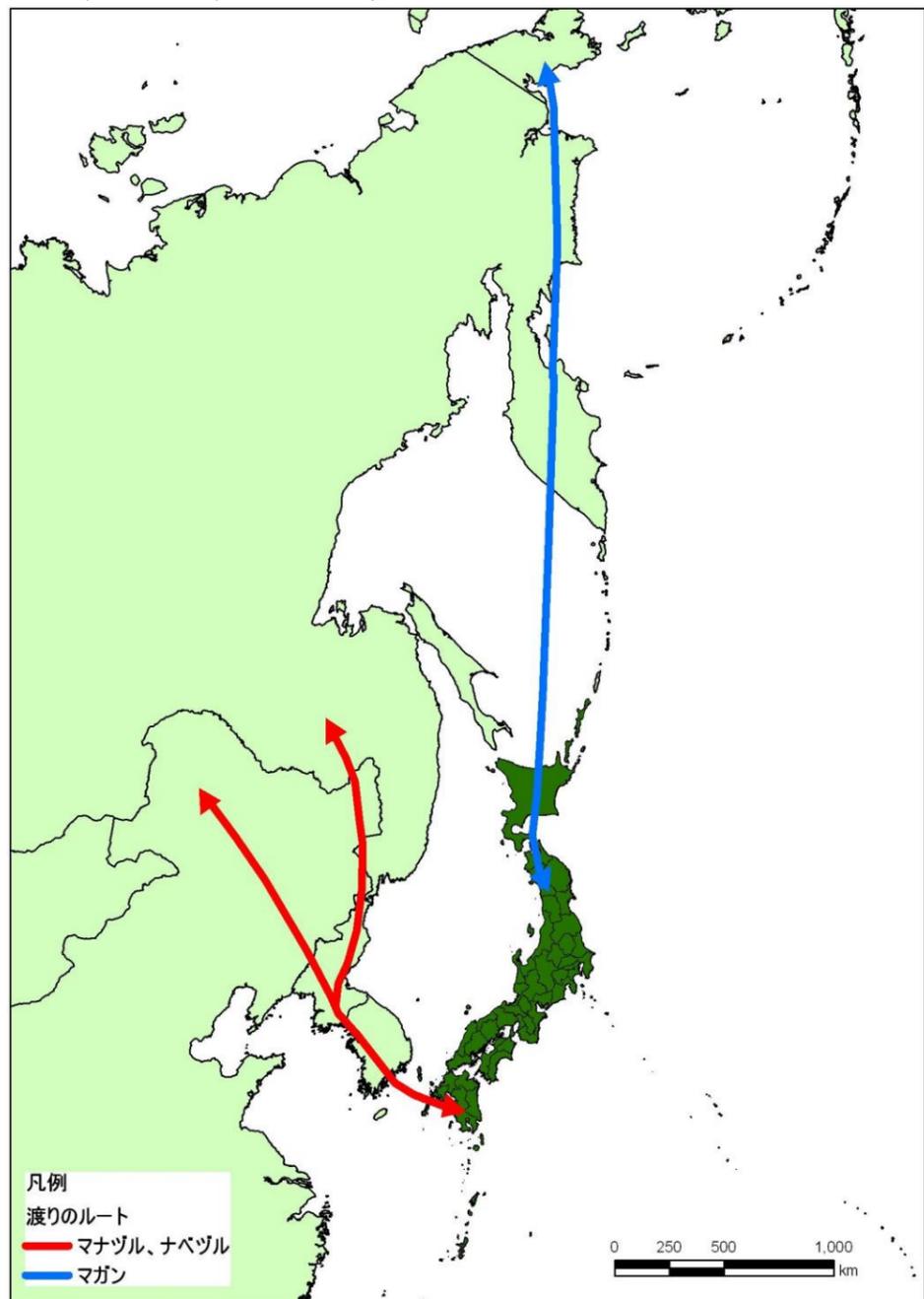


国際的な移動をする野生生物 ～渡り鳥の事例～

- 渡り鳥は、ツバメやカッコウをはじめとする夏鳥、ツル類やガン類などの冬鳥、そして多くのシギ類をはじめとする、渡りの中継地として日本に立ち寄る旅鳥などがあり、その多くは国境を越えた渡りを行っている。
- 人の生活にとって、ツバメのように水田の害虫を捕食したり、カモ類のように狩猟資源となる等のプラスの側面が大きい一方で、鳥インフルエンザ等の新興感染症を運搬するといった側面も見られる。

マガン、マナヅル、ナベヅルの渡りのルート



マガン (*Anser albifrons*)



マナヅル (*Grus vipio*)

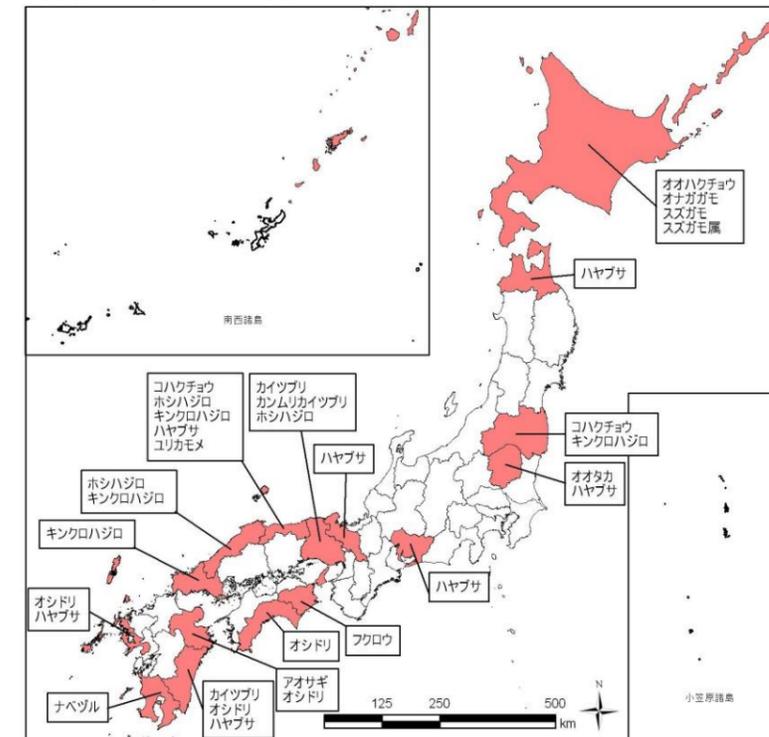


ナベヅル (*Grus monacha*)

撮影：(財) 自然環境研究センター

出典：Yamaguchi, N. and Higuchi, H. 2008. Migration of birds in East Asia with reference to the spread of avian influenza. *Global Environmental Research* 12:41-54. を改変

野鳥において高病原性鳥インフルエンザが確認された道府県 (平成22年10月～平成23年5月)



出典：環境省，2011；野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル

高病原性鳥インフルエンザの確認数の多かった野鳥



オシドリ (*Aix galericulata*)



キンクロハジロ (*Aythya fuligula*)



ナベヅル (*Grus monacha*)



オオハクチョウ (*Cygnus cygnus*)



ハヤブサ (*Falco peregrinus*)

撮影：(財) 自然環境研究センター